



例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人



「おなじ星を見ていた - ギャリクスの架ける虹-」より
青き山 内田 新哉

<会長の時間>

先日日曜日行いました、インターアクト委員会の移動例会に参加頂きました皆様、ご苦労様でした。少し年を取ると忘れたころに来ると言います、筋肉痛は大丈夫だったでしょうか。心配した天候にも恵まれ、けがも無く無事終わったことに感謝いたします。



荒川先生の挨拶にも有りました様に去年の教師部会から一年越しの事業で、荒川先生や杉山委員長には準備・段取りに本当にお世話になりました。お陰様で環境科学科の演習林の素晴らしいヒノキも提供頂き、予想以上に素晴らしい遊歩道の修繕が出来たと思っています。

残念ながらマスコミは「市民時報社」だけでしたが、しっかり取材をして頂き一番働いていた人が写真に載っていました。ただメンバー3人はスコップを持って立っただけで、働いているのは高校生だけの様にも見えたが、もし動画なら休むことなく動いて見えた様子がきつと写っていた事と思います。

この様に「汗する奉仕活動」も大切な事だと改めて感じました。今回は飛騨高山高校の生徒さん達との協働作業でしたが、普段関わりのあるインターアクトの生徒さん達だけにこだわらず、いろんな団体・青少年との関わりを持ちながら活動をする事も、大切だと思えますし、また楽しく行えるように思います。

今月は青少年奉仕月間と言う事で、ロータリーの友の特集の中に、奈良県橿原市のあすかRCの「チームASUKA」の事が載っています。『奉仕の大切さ次世代に引き継ごう』と学生・社会人・留学生などに呼びかけ、事業の企画から準備・実行、反省まですべての流れをRCと協働で行っているとの事です。15年前の発足時は3名だったそうですが、現在では100名を超える登録者になっており、2011年の東日本大震災でボランティア活動をしたり、2017年の熊本地震ではメンバーと共に80名位が益城町まで出向き当地のRCと合同で2300名の小学生をレジャープールに招待して東の間を楽しんでもらったと言う事です。

素晴らしい活動をされているなと思いますし、これが推奨されているRCC『地域社会共同体』の事だと思います。ただそれぞれのクラブには活動への思い・やり方が有ると思うので、全てのクラブが出来るとは思いませんが、当クラブは青少年奉仕には力を入れていると思います。その中で若い人達と計画段階から話し合い、作り上げる活動を模索するのも楽しいかなと、今回のスカイパーク事業を終わってみて、改めて感じました。

<幹事報告>

◎2019-20年度ガバナーより

- ・第1回地区ロータリー財団研修セミナー参加出席要請のご案内

日 時 7月13日(土)

12:00~16:30

会 場 岐阜グランドホテル

出席要請者 2019-20クラブ会長、2019-20財団委員長

◎飛騨高山国際協会より

- ・高山・デンバー姉妹都市提携60周年記念事業協賛金の募集について

協賛金額 1口5,000円

充当事業 デンバー市へ贈呈した高山祭の屋台模型補修事業、その他60周年記念事業

募集期間 令和元年5月7日~令和2年3月末日まで

・飛騨高山文化芸術祭ごたま〜れ2019オープニングセレモニーについて

日時 5月26日(日)午後2時~午後4時

会場 高山市民文化会館大ホール、

内容 「ごたま〜れファンファーレ」演奏、書道家武田双雲×若きアーティストの競演 等

・平成31年度通常総会資料

◎光記念館より

- ・開館20周年記念特別展のご案内および招待券・優待券

「インカ マヤ」 期日 6月15日(土)~12月16日(月)

<例会変更>

高山中央 … 6月3日(月)は、定款により 休会

6月24日(月)は、最終慰労例会のため

18:30~ ひだホテルプラザ に変更

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	31名	3名	34名	40名	85.00%
本日	31名	-	31名	40名	77.50%

<本日のプログラム> 会員スピーチ

蒲 優祐

入会前のゲストスピーチに続き2度目の機会を頂きありがとうございます。本日は弊社の業務および8月に企画しております『飛騨ジモト大学』を中心にお話しさせていただきます。



インスピレーションになろう

